

教育・文化活動・生涯学習



ロボットプログラミング授業

地方での人口減少を食い止めるため、自治体では様々な対策を行っております。一宮町では、子どもたちがICTに親しみ、ICTを使いこなせる人材育成の素地となる授業を目指すなど、他の地域にはない取り組みによって、地元の定住人口や若い子育て世代移住者の増加を図っています。

取り組みの一つが、児童にロボットプログラミングへの好奇心と興味を持たせることを目的とした「ロボットプログラミング授業」です。児童が「レゴブロック」を用いて1人1体のロボットを組み立て、自分で作成したプログラムでロボットを動かします。プログラミングが正しくできていないとロボットが動かないため、児童はプログラミングとロボット作動を繰り返しながら、プログラムで物を動かす仕組みを学習していきます。

【写真】ロボットプログラミングにチャレンジする東浪見小学校の児童（東浪見小学校体育館）



ホームステイ

一宮町・長生村・白子町の中学生を合同で海外派遣することにより、その国の歴史や文化を学び自然や伝統を体験することで国際的な視野を育むとともに、町村の垣根を越えた中学生同士との交流を深め、交流研修の経験を地域に還元することで人材の育成を図っていきます。

【写真】交流を楽しむ一宮中学校の生徒（オーストラリア・ゴールドコースト）



公民館の和室

一宮町はこの要覧の随所に記載されているように現代に至るまで、地域の中核としての存在を維持してきていました。それは裁判所・検察庁・警察・法務局などの公共機関が全て当町に置かれていたことでも長生地区における位置づけがよくわかります。

その後、産業構造の変化等で変わってきてはいますが、地域社会の担い手としての存在意義は変わらないものと思います。また、国際社会の変遷の激しさはますます大きくなってきています。この状況の中で文化の継承のみならず、国際社会に対応できる文化・科学・技術・社会情勢等々を子どもたちが積極的に学び、社会に巣立っていき、縦横に活躍できる素地を作っていくことはなかなか大変なことだと思います。

特に、義務教育段階では子どもたち自身よりは保護者の思考・判断・決断が重要になってきています。そして、その適否が子どもの将来に大きく影響する状況が想定されています。

教育委員会は、国の動向や社会状況を睨みながら教育施策等を通じて「確かな学力・豊かな心・健やかな体」の調和を重視した「生きる力」の育成を目指して努力しているところです。

最近、保護者の皆さんの価値観の多様化と子どもたちの個性化が

顕著になってきており、学校教育・社会教育ともに同じベクトルでの取り組みにエネルギーを要するようになっていきます。一人一人が満足感を持てる施策の実行に向けてこれからも前に進んで参りたいと思います。

（教育長 町田義昭）

学校教育では、確かな学力・豊かな心・健やかな体の調和を重視した「生きる力」の育成を目指し、将来の日本や町の担い手となり、世界に羽ばたく若者を育てる教育を推進いたします。

町内には、東浪見・一宮の二つの小学校と一宮中学校、合わせて三つの学校があります。ALT（外国語指導助手）や町教育支援員を配置し、授業支援を行うとともにICT機器（パソコンなどの情報通信機器）の導入やエアコン設置など教育環境を整備して、子どもたちが安心して学べる学校づくりを進めてまいります。

また、誰もが学ぶ機会を得られるよう、文化財講座・公民館教室などの生涯学習の講座、教室の充実も図っています。中央公民館のほか、柔道や剣道に使用される振武館や、多目的に使用されるGSセンター、陶芸・染色などに使用される創作の里など、各種施設の整備・拡充も行っています。

（教育課長 鎗田浩司）



総合文化祭（芸術と音楽をたのしむ会）

芸術の秋。一宮でも秋を彩る、文化のイベント「総合文化祭」が行われます。例年10月下旬に行われるのが「芸術と音楽をたのしむ会」。小中学校をはじめ、芸術音楽関係団体が日頃の練習の成果を発揮します。会場が一体となって奏でる、「100人大合奏・合唱」はイベントのフィナーレを飾るのにふさわしい、プログラムとなっています。

11月初旬、2日間にわたって「文化祭」が行われます。個人やサークルが日々鍛錬して製作した、選りすぐりの作品が毎年約1300点展示されています。また、書道などの体験コーナーも設けられ、「見る」だけでなく実際に「触れる」機会にもなっています。

【写真】合同演奏（一宮小学校・一宮中学校・一宮商業高校の児童・生徒、ふるさとバンド（GSSセンター））



一宮町体育協会

NPO法人一宮町体育協会には、17のスポーツ団体が加盟し、協会はこれらの団体の支援や町からの委託事業として各種スポーツ大会を開催しています。一宮町体育協会は、スポーツを「人生を楽しくするひとつの手段」と考え、加盟団体への支援、町民の皆さまへの貢献を通じて高齢化など激変する社会環境に立ち向かうべく、生涯スポーツの振興に邁進していきます。

【写真】アスリートオブザイヤー2017表彰式（左から長谷川さん、岩下さん、大場会長、金井さん、池田さん）